

# 大会宣言

新座市のお母さん、女性のみなさん、男性のみなさん  
今年も多くのの方々の参加により、新座母親大会が開催されました。

東日本大震災から2年半が経過した現在も、復興はなかなか進んでいません。福島第一原発は今も汚染水が増え続け、それが海に流出するという事態になっています。「収束」には程遠い状態です。政府の責任で一日も早い復興を実現してほしいものです。「危険な原発はいらぬ、原発に頼らない社会にしよう」という国民の願いに反して、政府は原発の再稼働などの原発推進政策を推し進めようとしています。それに対して、「原発反対」の運動は広がりつづけています。

先の参議院選挙で大勝した自民党安倍政権は、暴走を続けています。安倍首相は2014年4月から消費税を8パーセントに引き上げることが表明しました。所得が大きく減っている国民から8兆円も奪い、巨額の内部留保を抱える大企業に減税をばらまくという、国民いじめの政策に私たちは賛成するわけにはいきません。消費税が上げられれば国民生活は大変になり、商店や中小企業の人たちは大打撃を受けます。安倍政権は、くらしと国を丸ごと壊すTPP交渉への参加をはじめ、オスプレイ配備など、財界、アメリカ言いなりの政治を進めようとしており、これらに反対する運動も広がっています。

長引く不況で、国民生活は大変な状況になっています。非正規雇用、不安定雇用の若者が増えています。就職難で、仕事につけない人もたくさんいます。年金は減り続けています。大企業・財界中心の政策では、国民の暮らしはよくなりません。私たちは、雇用、教育、医療など生活上の公約の実行を強く求めます。

教育の分野では、現在は、小学校1、2年生で35人学級が実現しています。しかし、3年生以上は40人学級のままで。私たちは、30人学級の完全実施を早期に実現するように運動を進めていきます。新座市は多くの教職員の反対を背景に土曜授業を8回から5回に減らしました。その代わりに開校記念日を授業日にしました。教師の多忙化に拍車がかかっています。遅くまで仕事をしなければやり終わらないというのが現実です。

安倍政権は憲法を変えようというたくらみを前面に押し出してきました。ところが今、世界では、平和で公正な社会を求めるうねりが高まっています。世界の人々の願いは、戦争も核兵器もない平和な世の中に暮らすことです。その中でもわが国の日本国憲法第九条は、「戦争放棄」を理念として輝いています。私たちは草の根から憲法を守り発展させる運動を、これからも進めていきます。

雇用の問題、生活の問題、教育の問題、放射能汚染の問題など、私たちの周りには課題がいっぱいあります。これらの課題に対して、力を合わせて取り組んでいきます。子どもたちに平和と明るい未来を手渡したい、それが私たちの切なる願いです。本日分科会で話し合われた一つ一つの問題を改善していくためには、私たちが憲法を深く学び、国、県、新座市にその精神を生かした政策を実施するよう要求していくことが急務です。

生命（いのち）を生み出す母親は、生命を育て、生命を守ることをのぞみます。

女性も男性も生き生きと働き、豊かな老後をごせるよう運動を進めていくことを新座母親大会の名で宣言します。

2013年10月6日

第三十九回新座母親大会